



令和7年度 市川中1年グランドデザイン



学年経営目標

中学生としての自覚を持ち、知徳体の調和のとれた「たくましい生徒」の育成

今年度の重点

確かな学力の育成

- 学ぶことが楽しい授業づくり
 - ・授業規律や学習方法を丁寧に指導し、安心して学び合える授業を行う
 - ・ICT機器の活用やグループ活動を取り入れるなど一人一人が主体的に活動し対話する授業内容を工夫する
- 家庭学習の習慣化と内容の充実
 - ・自主学習ノートやテスト前学習の取り組みによる家庭学習の習慣化を図る
 - ・個に応じた学習支援を行う
- 自分の進路に関心をもてる計画的なキャリア教育の推進

豊かな心の育成

- 互いを敬愛し、人権を守り、いじめを絶対に許さない仲間づくり
- 生徒一人一人の気持ちに寄り添う生徒指導
 - ・生徒理解を深めて中1ギャップの解消に取り組む
- 自分らしさを発揮し互いに認め高め合う集団づくり
 - ・日常生活や行事等で多様な活躍の場面を設け、自分らしさを表現し、認め合える集団づくりを行う
 - ・学級、学年、全校の仲間と繋がり、リーダーを中心によりよい方向に進もうとする集団づくりを行う
- 豊かな心を育む合唱活動、読書活動の推進

健康・安全

- 中学生としての生活習慣を身に付け、自ら行う健康管理の推進
- SNSの使い方をはじめとした自ら考える情報リテラシー教育
- 部活動を通じた心身の健康の向上
- 生徒と教師で共に進める校内の環境美化

地域との連携

- 保護者や関係機関との積極的な連携
 - ・保護者への丁寧な情報共有を行い、共通認識を図り生徒指導にあたる
 - ・関係機関と連携し多くの人で生徒の成長を支える
- 地域社会の一員としての積極的活動の推進
 - ・ボランティア活動などへの積極的な参加を進める
 - ・みさと学の推進と、地域学校協働本部と連携した活動を実施する

取組の具体と分掌

- ・授業後の評価を帰りの会の振り返りの活動に生かし授業を大切にする取り組みを行う。(塩澤・平嶋)
- ・タブレットを活用する場面やグループ活動や対話する場面を取り入れ、授業の工夫改善を提案する。(塩澤・平嶋)
- ・毎日の自主学習ノートの取り組みによる家庭学習の習慣化を図ると共に、学びのPDCAサイクルを身に付け内容が充実できるよう指導する。(塩澤・平嶋)
- ・テスト前の「個別の取り組み表」を活用した家庭学習の充実や、放課後学習会での学習方法の助言など、個に応じた支援を行う。(全・平嶋)
- ・「職場見学」「職業調べ」「高校調べ」に取り組み、自分の進路を考える機会とする。様々な進路選択を知り、3年間の進路学習に見通しをもてる指導を行う。(依田)

- ・道徳の授業を学年職員全員で担当し、人権を守りいじめを許さない心、平和について、学年全体で考え議論する。(全・塩澤)
- ・毎日のスマイルライフ等のやりとりや二者面談等を通じて、生徒一人一人の思いや考えを知り生徒指導にあたる。(塩澤・平嶋・菊田・長田)
- ・学級、学年活動や行事などで役割を担う多様な活躍の場を作り、頑張りを認め合える場面を大切にする。(全)
- ・上級生を手本とし、学年執行部などのリーダーを中心とした主体的で組織的な活動に取り組む。(塩澤)
- ・多様な表現に触れ楽しさを体験できる合唱活動、読書活動の機会を設け推進する。(長田・菊田)

- ・自己管理ができるように、自分の生活習慣や食生活を見つめる学習の機会を設ける。(菊田)
- ・生徒会「SNS宣言」をもとに、メディアや情報の正しい利用のあり方について自ら考える学習の機会を設ける。(塩澤)
- ・安全で効率的な部活動を行い心身の健康の向上を図る。(全)
- ・生徒会重点活動の清掃活動を師弟同行で行う。脚下照顧など自分たちが生活する校内の環境美化に努める。(依田)

- ・学級、学年通信を適宜発行して学校の様子を保護者に発信したり、必要に応じて電話連絡や家庭訪問を行ったりする等、保護者と共通認識をもって生徒指導にあたる。(全)
- ・生徒に必要な専門機関との積極的な連携を図る。(菊田)
- ・ボランティア活動への積極的な参加の活動を生徒と共に企画し、地域や社会とのつながりを考える。(長田)
- ・地域の方と連携した福祉講話を実施し福祉を考える。(依田)
- ・みさと学に取り組み、本部と連携して地域産業の体験や史跡を巡る校外学習を実施し、地域の学習を深め広げる。(依田)